

Canforo

カンフォロ

愛媛県美術館ニュースNo.23 2004

No. 23

A feature 特集 展示 1

杉浦非水の足跡 ～つくられるイメージ～

平成16年7月13日[火]－9月5日[日]月曜日休館(ただし、8月16日(月)は開館)

会場：新館2階[特別展示室3]

観覧料：大人500円(400円)、高大生400円(320円) ※()内は20名以上の団体割引料金、小中生・高齢者・障害者・友の会会員等は無料

明治末から大正期にかけて、資本主義経済が定着するに
したがって広告の重要性が見直され、さらに印刷技術もそ
れに共鳴するかのように急速に進歩していきます。こうした
社会の要求に応じて、デザイナー(当時は図案家と呼ばれる)
という職業が次第に確立されていきました。その立役者と
して活躍したのが、杉浦非水です。

明治9年に松山に生まれた非水は、明治30年に上京し、
東京美術学校で日本画を学びますが、洋画家の黒田清輝に
出会い、黒田がヨーロッパから持ち帰ったアール・ヌーボー
の資料から刺激を受けて、図案家の道に進むこととなります。
日本画や洋画の作品とは異なり、広告には人目を惹きつけ、
アピールする色と形が必要であるということに、非水は早い
時期から気づき、明治末期から続く美人画ポスターの流れ
を完全に断ち切る名作を生み出します。それが、非水がはじ
めて手がけたポスター《三越呉服店 春の新柄陳列会》で
した。ポスターの定型となりつつあった着物の女性像を中
心に配する構図でありながら、背景装飾の中に人物が溶け
込むかのような立体感を排除した描き方は、非常に斬新な
ものでした。しかし、斬新であっても、基本は和風の趣を残
しているため、幅広い層の大衆に共感を持って受け入れられ、
日本のポスター史上に残る作品となりました。

また、大正11年、46歳で実現した1年余りのヨーロッパ
留学を経た後は、日本で初めての創作図案研究団体を作る
など、さらに意欲的に活動し、後進の育成にも尽力します。
三越ポスター時代の平面的な作品から一転して、奥行き表
現を効果的に利用したポスター《東洋唯一の地下鉄道》も、
留学後に制作された作品です。

ポスターを中心に、その他雑誌の表紙やたばこのパッケ
ージデザインなど、日本のグラフィック・デザイン界の先駆者・
杉浦非水の残した足跡をたどる今回の展示は、当館特別展
示室をかわきりに県総合科学博物館(新居浜市)、県歴史文
化博物館(西予市)に巡回します。関連プログラムも用意し
ていますので、この機会にぜひ杉浦非水の作品をお楽しみ
ください。

学芸員 中山 公子

著作権等の関係により図版を削除しております

《三越呉服店 春の新柄陳列会》

移動美術館

- ◆愛媛県総合科学博物館 平成16年9月11日(土)～9月26日(日)
- ◆愛媛県歴史文化博物館 平成17年1月22日(土)～2月6日(日)
月曜休館(ただし9月20日(月・祝)開館、翌21日(火)休館) 入場無料

関連プログラム

【ギャラリー・トーク】10:30～11:30・14:30～15:30

- ◆愛媛県総合科学博物館 9月12・19・26日(各日曜日)
- ◆愛媛県歴史文化博物館 1月23・30日・2月6日(各日曜日)

【パズルであそぼ】

あなたも迷デザイナー!! 会期中随時開催

※団体で参加ご希望の方は美術館までお申し込みください。

幕末・明治の文人画家—天野方壺 生誕180年展

会期：平成16年7月17日(土)～8月29日(日) 月曜日休館(ただし8月16日(月)は開館)

会場：愛媛県美術館分館 郷土美術館2階

観覧料：大人100円(80円)、高大生50円(40円) ※()内は20名以上の団体割引料金。小中生・高齢者・身障者・友の会会員等は無料



天野 方壺《竹溪観音図》明治17年(1884)

幕末から明治にかけて、日本全国で文人画・南画の大流行がありました。文人画とは文人の画であり、文人とは学問にたずさわり詩文書画をよくし風流を愛する人士のことです。当時の大流行の背景には、武士たちの間で漢学(儒学)が盛んだったことに加えて、農家や商家における読み書きの普及と定着ということがあったと思います。中国を中心とする東洋では古来、漢詩や書画や音楽や喫茶は学問の一環であり、知識人・為政者の必須の教養でありました。そういった文人趣味の大流行は愛媛の諸地方に及び、多くの文人画家たちが当地で活動しましたが、また中には郷里を出て大坂や京都で名を上げた者もいました。その代表格が天野方壺(あまの・ほうこ)です。

文政7年(1824)8月16日、松山の三津浜に生まれた方壺は、13歳で京都へ出て中林竹洞や貫名海屋に師事。書画法を学んだのち、関西から山陽・山陰を経て九州・四国まで数年間にわたり各地を遊歴。勝景・奇景を写生したり古画を模写したりして画道修業を続け、21歳のとき一旦は京都へ戻り日根対山に師事しましたが、まもなく京都を発ち関東へ旅行。江戸の椿椿山に学んだあと、蝦夷地まで渡り海岸の勝景を写生。さらに長崎で木下逸雲に学び、明治維新後には中国上海に渡航し胡公寿にも師事しました。休みなく全国を旅行し画道修業を続けた彼は52歳のときようやく京都に居所を定めましたが、その後やはり各地への遊歴を続け、明治28年(1895)旅先の岐阜で逝去しました。享年72でした。

方壺と交際のあった文人画の巨匠、富岡鉄斎は、私的なメモ帳の中で方壺のことを「画匠」と記しています。鉄斎は「万巻の書を読み万里の路を行く」ことを座右の銘とし、現実にも全国を旅しましたが、この「万里の路を行く」ことに関しては方壺は鉄斎をも超えています。そういった面も含め、鉄斎は方壺に一目置いていたのでしょう。本展では、今年で生誕180年を迎える「画匠」天野方壺の多彩な芸術を、当館所蔵の作品20点により紹介します。

学芸員 梶岡 秀一

Exhibition

東京富士美術館所蔵 印象派と西洋絵画の巨匠展

会期：平成16年9月18日(土)～10月24日(日)

月曜日休館(ただし9月20日・10月11日は開館、9月21日・10月12日は休館)

会場：新館1階[企画展示室]

観覧料：大人1,000(800)円、高大生700(500)円、小中生500(300)円

※()内は前売・団体(20名以上)料金。※高齢者・身障者は前売料金で当日入場できます。

フリーパス券1,600円

※会期中、会場受付で販売。記名本人様に限り、何回でも入場できます。ご本人の証明書をお見せいただくことがあります。

東京富士美術館(東京都八王子市)は、洋の東西を問わず、約27,000点に及ぶ膨大な作品を収蔵しています。本展では、そのコレクションから、モネ、ルノワール、ピサロ、シスレーなどフランス印象派の絵画を中心に、19～20世紀に活躍した61作家の絵画・版画98点を紹介します。

学芸員 武田 信孝

美術講座 「西洋美術史—モネ、ルノワール 印象派の巨匠たち」

モネ、ルノワールを中心に、フランス印象派の巨匠たちとその作品について語ります。

講師：当館学芸員

日時：第1回 9/20(月・祝)「印象派と19世紀フランス」
第2回 9/26(日)「ピエール＝オーギュスト・ルノワール」
第3回 10/3(日)「クロード・モネ」
10:30～12:00(各日共通)

一般(120名)※事前申込。本紙「講座案内 各講座の申込方法」を参照。

美術体験講座 「光のイロイロ」

モネの《睡蓮》の色づくりを体験し、時間や気象によって変化する光の表現を探ります。

講師：当館学芸員

日時：9/19(日)14:00～16:00

小学生(20名)※事前申込。本紙「講座案内 各講座の申込方法」を参照。

ミニ・トーク ハイビジョン・ギャラリーにて企画展の見どころを簡単に説明します。

講師：当館学芸員

日時：9/19(日)・23(木・祝)・25(土)
14:30～15:30(各日共通)(20分程度)

一般(40名)※事前申込不要。当日先着順。

著作権等の関係により
図版を削除しております著作権等の関係により
図版を削除しております

5大連作版画展関連事業—こども版画工房・銅版画の魅力—

「20世紀巨匠の5大連作版画展」にちなんで、様々な催しを開催しました。美術体験講座で、小学4～6年生を対象に『こども版画工房 ～ミロに挑戦』を、また高校生以上を対象として『ピカソ・銅版画の魅力』を開催しました。

小学生の講座では、ミロの作品を鑑賞した後、版画専用のアトリエ1に行き、今回のミロの作品と同じく水と油の反発作用によるリトグラフ(制作は木版リトグラフ)を体験。色紙程の大きさのベニヤ板にロボットや動物の絵を自由に描きました。水彩絵の具で補彩したため、大変カラフルな作品が出来上がりました。写しとるといふ楽しさや複数出来上がる版画の特性を実感できたのではないのでしょうか。

また、高校生以上の講座では、ピカソを初めとする作品を展示室において見てもらいました。版画の線をじっくりとみてもらうため、様々な描材によるカードを5名の班毎に持って、同じ描材探しをしてもらいました。その後、研修室に戻り、版画の種類について説明した後、再度展示室においてピカソの作品を鑑賞しました。版画には、複雑な工程や技法があり言葉での説明では難しかったようですが、版画の多様性を実感していただけたと思います。

今後も、様々な新たな発見に繋がるような講座も開催していきますので、美術館の活動をお楽しみに!
主任学芸員 田代 垂矢子

「こども版画工房 ～ミロに挑戦」

開催日：5月22日(土)
参加者：小学4～6年生
のべ17名
講師：箱田 千穂
(当館学芸員)



「ピカソ・銅版画の魅力」

開催日：5月29日(土)
参加者：高校生以上
15名
講師：田代 垂矢子・
長井 健
(当館学芸員)



ミュージアム・コンサートレポート



5大連作版画展によせて

この夏、新しい試みで美術館友の会主催のミュージアムコンサートを開催しました。まず、6月6日(日)、渡辺治子氏と宮田耕八朗氏による箏と尺八のコンサート。日本の伝統的な曲からカタルニア民謡と幅広い曲目を披露していただき、邦楽の魅力の深さに触れることができました。続いて、7月24日(土)、藤岡葉子氏によるソプラノ・リサイタル。しばし日中の暑さを忘れる清涼感あふれる歌声がエントランスホールいっぱい響き渡りました。どちらも会場があふれるほどの聴衆となり、美術作品にかわり音楽を楽しむ人々が過ごす、いつもと違う美術館の姿が見られました。
主任学芸員 石崎 三佳子



藤岡葉子ソプラノ・リサイタル

INFORMATION

ハイビジョン・ギャラリー 夏休み特別上映

8月31日まで(月曜休館 ただし8月16日(月)は開館) 新館1階ハイビジョン・ギャラリー

楽しいムーミン一家

テレビでアニメを見た世代の方も、アニメのムーミンを知らない現代のちびっこたちも、美しい大画面で楽しいムーミンの世界をお楽しみください。

- 10:30、13:30、14:30の1日3回(各25分)
- (ただし、8月28日10:30、13:30は上映休止。)
- その他都合により予定変更・休止になる場合があります。)

華麗なる美の殿堂 世界の美術館

ルーヴルやオルセー、ブラドなど世界の美術館の名画が映像と解説で楽しめます。

- 11:30、15:30の1日2回(約60分)
- (ただし、8月28日15:30は上映休止。その他都合により予定変更・休止になる場合があります。)
- 9月以降の上映予定は随時館内に表示していますので、ぜひご覧ください。

あのテレビアニメが美術館にやってくる!



*ご利用ください!

ふれあいアートセンター

これまで南館の創作活動相談室では、作品制作、作品・作家の調査など、美術に関する相談に対応してきましたが、従来の業務に加えて、直接県民の美術館に対する要望をお聞きする場として、名称を「ふれあいアートセンター」と改め、リニューアルしました。一般の方の声を少しでも美術館の運営に反映できるようにスタッフが皆さまの来室をお待ちしています。第1週の金曜日(ファースト・フライデー)には、館長が在室しています。お気軽にお立ち寄りください。

美術館日記

大きなダクトにガスマスクの人。7月上旬、臨時休館日の美術館での一コマです。

さて、何をしているところでしょうか。実は『燻蒸』という、虫やその卵を殺し作品を予防するための大切な作業をしている写真です。虫が活発に動く夏場に、沢山の作品を入れてある大きな部屋を密閉して、そこに強い薬(気体)を流し込みます。人に有害な薬なので館内には職員も入れなくなります。専門の業者さんですが、ガスマスクをしてきちんと薬が効いているが、また排気ができているかを確認してくれています。大きなダクトは薬を綺麗な空気にしてから排気するための物です。臨時休館日や展示作品のない日が増えて、皆様にはご不便をおかけしましたが、今後も作品保全のためご協力をお願いします。(A.T)

大きなダクトが床いっぱいです。



ガスがもれてないかチェック!!



		8	9	10	11
企画展示室		小さなノーベル賞 ~国際アンデルセン賞の 受賞者たち展~ TOPICS 7/17(土)-8/31(火)	東京富士美術館所蔵 印象派と西洋絵画の巨匠展 9/18(土)-10/24(日)		
常設展示室	1.日本画・書	夏の景色 7/13(火)-9/5(日)	富岡鉄斎没後80年 9/7(火)-11/7(日)		松本山雪 11/10(水)-12/28(火)
	2.洋画	びじゅつかんで山登り?! 7/13(火)-11/7(日)			所蔵品展V 11/10(水)-12/28(火)
	3.現代美術	田窪恭治-りんごの礼拝堂- 7/13(火)-11/7(日)			所蔵品展V 11/10(水)-12/28(火)
特別展示室	1.西洋美術	所蔵品展Ⅲ 7/13(火)-9/5(日)	所蔵品展Ⅳ.V 9/7(火)-12/28(火)		
	2.福田平八郎	所蔵品展Ⅲ 7/13(火)-9/5(日)	所蔵品展Ⅳ 9/7(火)-11/7(日)		所蔵品展V 11/10(水)-12/28(火)
	3.郷土作家	つくられるイメージ ~杉浦非水の足跡 7/13(火)-9/5(日)	古茂田守介、公雄 9/7(火)-12/28(火)		
分館		幕末・明治の文人画家 天野方壺 生誕180年展 7/17(土)-8/29(日)			

TOPICS

小さなノーベル賞~国際アンデルセン賞の受賞者たち展~
7/17(土)-8/31(火)

長年、子どもの本に関わり、子どもたちの心をひきつけ、楽しませる豊かさを持った本を生み出してきた作者の業績に与えられる児童書の最高の賞と言われる国際アンデルセン賞。その受賞者たちの原書、作品原画を一堂に紹介します。

1966年作家賞受賞 トーベ・ヤンソン《ムーミン谷の冬》の原書表紙



関連事業

お・は・な・し・タ・イ・ム

松山おはなしの会によるアンデルセン賞の絵本や童話の読み聞かせを行います。

●会期中、毎日曜日/13:30~14:00、15:00~15:30

ギャラリートーク「小さなノーベル賞が生まれたわけ」

●8/21(土) 14:30~(1時間程度)

どちらも企画展観覧券が必要となります。

講座案内

LECTURE

実技講座 アトリエ入門 木版画カレンダー2005!

木版単色刷りのオリジナルカレンダーを作ってみよう。

A 10/16(土) 10:30~15:00・23(土) 10:30~11:30

B 10/17(土) 10:30~15:00・23(土) 13:30~14:30

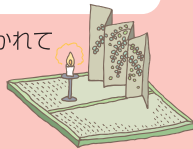
A:小学生(12名) B:中学生以上(12名) 講師:スミダヒロミ(版画家)

美術体験 屏風の居場所

展示ケース越しではなく、屏風の置かれていた「場」を体験しよう。

11/13(土) 14:00~16:00

中学生以上(20名)



実技講座 アトリエ入門 つむいでみよう

ふわふわの羊毛を紡ぎ、自分らしい毛糸を作ってみませんか?

A 11/27(土)・28(日) B 2/19(土)・20(日)

C 3/5(土)・6(日) 各10:30~15:00

中学生以上(各5名)



美術体験 貝あわせ

平安時代以来受け継がれてきた貝あわせ。昔の人になって作って遊んでみませんか。

11/27(土) 13:30~15:30

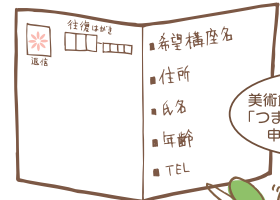
中学生以上(20名)



【各講座の申込方法】

往復はがきに希望講座名・郵便番号・住所・氏名(フリガナ)・年齢・電話番号を記入し、開講日の2週間前までにお申し込みください。詳しくは、普及係まで。

※定員に満たない場合は、申込締切後にも受け付けています。応募者多数の場合は抽選となります。



美術館に置いてある「つまみ」を使って申し込みます。

【ご利用案内】

開館時間:9:40~18:00(入場は17:30まで)

休館日:毎週月曜日(祝日及び振り替え休日に当たる場合は、その翌日)

12/29~1/5 臨時休館7/6~14

※8月16日(月)は開館します。

アトリエ 利用時間 9:40~18:00

創作活動のできるスペース。アトリエはどなたでも自由にご利用いただけます。お申し込みは、お電話か、直接来館して予約してください。

- 利用内容:版画・木工・染織・写真・粘土など
- お問い合わせ先:ふれあいアートセンター tel.089-932-0147

講堂・研修室・県民ギャラリー

講演会、研修、作品発表等に利用できる講堂(定員120名)、研修室(定員56名)、県民ギャラリー(12室)の開放を行っています。詳しくは、当美術館総務課まで、お問い合わせください。

美術館へのアクセスに皆さまにご利用いただいている市内電車の駅名が4月より「南堀端」から「南堀端(愛媛県美術館前)」と変更となり、6月より車内のアナウンスも始まりました。愛媛県美術館前の駅として親しんでいただければと思います。

ハトの声(編集後記)

紙面が4ページとなり2号目。この限られた紙面をどう生かすか悩まされています。しばらく、試行錯誤しながら編集させていただきますので、どしどし読者の生の声をお聞かせ願いたいと思います。(M.I.)



第16回 全国生涯学習フェスティバル

まなびピア愛媛

2004



愛媛県美術館

〒790-0007 愛媛県松山市堀之内

TEL 089-932-0010 FAX 089-932-0511

http://joho.ehime-iinet.or.jp/art/